

キャリア教育研究

諫早市立小長井小学校

1 研究主題

人とのかかわりを通して、生きることのすばらしさに気づく子どもの育成を目指して

2 研究仮説

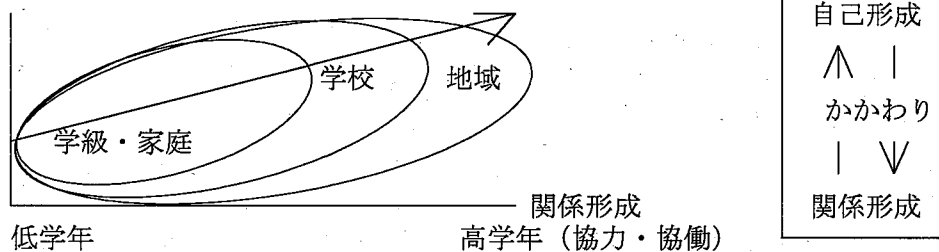
全教育課程の中で、よりよい「かかわり」づくりを意識した指導や評価を、計画的、関連的に位置付けることにより、児童は、肯定感をもちながら自己を形成するとともに、他者との円滑な関係を築く能力を身につけるであろう。

3 研究の方向

(1) 研究主題のとらえ方

- ① 「人とのかかわり」を次の3つの面から考える。
 - ア) 学級を基盤とし、日常生活や学習の中で育てる「かかわり」
 - イ) 学校を基盤とし、主に行事やたてわり活動の中で育てる「かかわり」
 - ウ) 家庭や地域を基盤とし、体験と各教科や領域を関連させながら育てる「かかわり」

自己形成 (自立・自律)



- ② 「生きることのすばらしさ」を「かかわり」を通して得られる自己肯定感、他者理解、他者への共感、あこがれととらえ、それに「気づく子ども」に育てる。

(2) 具体的な取組

- ① 目指す児童の姿 (目標＝「基礎的・汎用的能力」) を明確にする。資料①
- ② 各学年の年間計画の見直し 資料②
各教科や領域等の中から、キャリア教育の「要素」(キャリア教育の価値が見られるもの)を見出し整理する。
- ③ 「かかわり」を中心とした一連の計画及び「かかわり」の具体的な姿を描く。資料③
 - i) 授業の中で目指す「かかわり」合う姿 資料④
 - ii) たてわり活動で育てる「かかわり」を中心とした活動計画 資料⑤
 - iii) 家庭や地域を基盤とし、体験と各教科や領域等を関連させながら育てる「かかわり」づくり 資料⑤
→事前、事後及び、体験と教科や領域等を関連させた学習の一連の流れづくり
- ④ 活動や学習内での評価の位置づけ
→何のために評価するのか。何を評価するのか。何をを使って評価するのか。どのように評価するのか。
 - i) 定量的な評価
 - ・「基礎的・汎用的能力」に即したアンケート
 - ・今年度の重点項目についての自己評価 (4つの基準で評価)
 - ii) 定性的な評価
 - ・ポートフォリオ評価の活用
 - ・今年度の重点項目についての自己評価 (記述部分を活用)
 - iii) 自己評価と相互評価
 - ・本校の「基礎的・汎用的な能力」を評価の視点として、全教育課程の中で適宜行う。
 - iv) 刻々の評価言と多方向からの評価
 - ・次の活動や思考を促す評価を意識して行う。
- ⑤ 家庭との連携・学校評価の見直し
- ⑥ その他の取組
「基礎的・基本的な知識・技能」「論理的思考力・想像力」「意欲・態度及び価値観」を育てるための取組

キャリア教育を通して育成する能力

資料(1)

| 基礎的・汎用的能力 | | キャリア教育の段階 | | 高学年 | |
|---|--|---|---|---|---|
| 基礎的・汎用的能力 | | キャリア教育の段階 | | 高学年 | |
| 基礎的・汎用的能力 | | キャリア教育の段階 | | 高学年 | |
| <p>社会的・職業的自立に必要な移行能力</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> |
| <p>人間関係形成・社会形成能力</p> <p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるようになる。また、自己の意見や考えを適切に表現し、協働して社会的課題を解決することができる。</p> | <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> |
| <p>自己理解・自己管理能力</p> <p>自分の好きなこと(ものの、天賦なこと(自分の)の)をもち、その長所を生かして、行動することを目指す。また、自分の長所を生かして、行動することを目指す。</p> | <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> |
| <p>課題対応能力</p> <p>「働くこと」の意義を理解し、自ら学ぶ姿勢を身に付け、多様な生活状況に即応する能力を育成する。</p> | <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> |
| <p>キャリアリテラシー能力</p> <p>「働くこと」の意義を理解し、自ら学ぶ姿勢を身に付け、多様な生活状況に即応する能力を育成する。</p> | <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> | <p>高学年</p> <p>キャリア教育の段階</p> <p>各教科の学習を通して、職業的・社会的自立に必要な移行能力を育成する。</p> |

「意欲・態度」及び「価値観」
 学習や授業活動を通じて意欲をもって
 価値観の形成
 学習や授業活動を通じて意欲をもって

第3学年 年間指導計画モデル

○: 教科等の本来のねらい ☆: キーリヤ教育に即したねらい

資料②

| 学期 | 国語 | 社会 | 算数 | 理科 | 音楽 | 図工 | 体育 | 道徳 | 特別活動 | 総合的な学習の時間 | |
|----|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|
| 1 | <p>「宝物をよそよそしく使おう」 「約束した資料を約束通りに返すこと」 「注釈してエッセイを書いたりの開いた」 ☆「聞く、互いの思いを大切に」 ☆「自分から近づくこと」</p> <p>【かわりあう力・かわいさ】 「いろいろな書きかき」 「自由に書くこと」 ☆「自分の気持ちや考えを表現すること」 ☆「相手の気持ちや考えを表現すること」</p> | <p>「わたしたちのまち」 「郷土を愛する」 ☆「郷土の特色を生かして」 ☆「郷土を愛する」</p> <p>【かわりあう力・ひろがる力】</p> | <p>「力を発見しよう」 ☆「いろいろな力を知ること」 ☆「自分の力を発揮すること」 ☆「自分の力を高めること」</p> | <p>「植物のそだち方」 ☆「植物のそだち方を知ること」 ☆「植物のそだち方の観察すること」</p> | <p>「リズムに合う曲」 ☆「リズムに合う曲を知ること」 ☆「リズムに合う曲を作ること」</p> | <p>「図工のつくりかた」 ☆「図工のつくりかたを知ること」 ☆「図工のつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> |
| 2 | <p>「学校生活に生かす話し合いをしよう」 ☆「学校生活に生かす話し合いをしよう」 ☆「学校生活に生かす話し合いをしよう」</p> | <p>「身近な社会」 ☆「身近な社会を知ること」 ☆「身近な社会を愛すること」</p> | <p>「力を発見しよう」 ☆「いろいろな力を知ること」 ☆「自分の力を発揮すること」</p> | <p>「植物のそだち方」 ☆「植物のそだち方を知ること」 ☆「植物のそだち方の観察すること」</p> | <p>「リズムに合う曲」 ☆「リズムに合う曲を知ること」 ☆「リズムに合う曲を作ること」</p> | <p>「図工のつくりかた」 ☆「図工のつくりかたを知ること」 ☆「図工のつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> |
| 3 | <p>「宝物をよそよそしく使おう」 「約束した資料を約束通りに返すこと」 「注釈してエッセイを書いたりの開いた」 ☆「聞く、互いの思いを大切に」 ☆「自分から近づくこと」</p> <p>【かわりあう力・かわいさ】 「いろいろな書きかき」 「自由に書くこと」 ☆「自分の気持ちや考えを表現すること」 ☆「相手の気持ちや考えを表現すること」</p> | <p>「わたしたちのまち」 「郷土を愛する」 ☆「郷土の特色を生かして」 ☆「郷土を愛する」</p> <p>【かわりあう力・ひろがる力】</p> | <p>「力を発見しよう」 ☆「いろいろな力を知ること」 ☆「自分の力を発揮すること」 ☆「自分の力を高めること」</p> | <p>「植物のそだち方」 ☆「植物のそだち方を知ること」 ☆「植物のそだち方の観察すること」</p> | <p>「リズムに合う曲」 ☆「リズムに合う曲を知ること」 ☆「リズムに合う曲を作ること」</p> | <p>「図工のつくりかた」 ☆「図工のつくりかたを知ること」 ☆「図工のつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> | <p>「リズムのつくりかた」 ☆「リズムのつくりかたを知ること」 ☆「リズムのつくりかたを作ること」</p> |

授業での「かわわり」を通して目指す具体的な子ども姿について 資料③

| かわわりあい | 方 法 | 開 き 方 | 方 法 | 話 し 方 | 方 法 | 話 し 合 い | 方 法 |
|---|--|---|---|---|---|---|---|
| <p>・場を止して著考えし、著考えし、他人の意見を尊重し、自分の意見を述べようとする。</p> <p>・名前を呼ばれ、手拍子と返事を返す。</p> <p>・名前を呼ばれ、手拍子と返事を返す。</p> <p>・名前を呼ばれ、手拍子と返事を返す。</p> | <p>・生活全般で時間を遵守し、自分の時間を大切に守る。</p> <p>・名前を呼ばれ、手拍子と返事を返す。</p> <p>・名前を呼ばれ、手拍子と返事を返す。</p> <p>・名前を呼ばれ、手拍子と返事を返す。</p> | <p>・相手の顔をみて、相手の言葉を聴く。</p> <p>・相手の言葉を聴く。</p> <p>・相手の言葉を聴く。</p> <p>・相手の言葉を聴く。</p> | <p>・教師が話し手の方に立ち、手拍子と返事を返す。</p> <p>・教師が話し手の方に立ち、手拍子と返事を返す。</p> <p>・教師が話し手の方に立ち、手拍子と返事を返す。</p> <p>・教師が話し手の方に立ち、手拍子と返事を返す。</p> | <p>・聞き手を見て話す。</p> <p>・聞き手を見て話す。</p> <p>・聞き手を見て話す。</p> <p>・聞き手を見て話す。</p> | <p>・聞いて「ささい」などの言葉で、聞き手の手を握る。</p> <p>・聞いて「ささい」などの言葉で、聞き手の手を握る。</p> <p>・聞いて「ささい」などの言葉で、聞き手の手を握る。</p> <p>・聞いて「ささい」などの言葉で、聞き手の手を握る。</p> | <p>・話し合える。</p> <p>・話し合える。</p> <p>・話し合える。</p> <p>・話し合える。</p> | <p>・状況に応じた話し合いの役割を担う。</p> <p>・状況に応じた話し合いの役割を担う。</p> <p>・状況に応じた話し合いの役割を担う。</p> <p>・状況に応じた話し合いの役割を担う。</p> |

友達との「かわわり」を通して、互いを大事にしなが、学び合ったり、深め合ったりと意欲的に学習に取り組み。

| | | | |
|--------------------------------|---|--------------|---------------------------------------|
| 「基礎的・基本的な知識技能」 「論理的思考力、想像力」 | ・朝学習の時間の活用 ・縦割り・横割りと「話し合い活動」 ・各教科での「話し合い活動」 | 「意欲・態度及び価値観」 | ・充足感 達成感・自己の意義の理解 ・学習の目的、きまりの意識の理解 |
|--------------------------------|---|--------------|---------------------------------------|

○たてわり活動での「かかわり」を中心とした指導

資料④

| 月 | 昼の時間での活動 | 1単位時間の活動及び行事 | 指導上の留意点 |
|-------------|--|---|---|
| 1 学 期 | 勤労①（15分間） 校内及び周辺の清掃 | 清掃ボランティア計画 学活①（6年生） ・清掃場所、作業手順、約束等を計画し、活動に見通しをもつ。 ・たてわり班のリーダーとしての自覚をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動後には、必ず相互評価を行い、意欲と次の目標をもたせる。 ・進級した学年としての自覚を深めさせる。特に、高学年としてのリーダー性を養うことを意識して指導に取り組む。 ・自分の役割を果たそうとする気持ちを養う。 ・たてわりへの所属意識をもたせる。 |
| | たてわり遊び① （15分間） | | |
| | たてわり活動 （15分間） 折り鶴を作ろう ・互いに教え合いながら活動に取り組む。 | 清掃ボランティア 児童会① ・地域の役に立つことを考え、自分の仕事に取り組む。 ・たてわり集団での役割を考え、協力して活動に取り組む。 | |
| 2 学 期 | 勤労② 運動会前の清掃活動 | 運動会 行事 ・各種目を2学年のたてわりで計画し、上学年を柱に練習に取り組む。 ・集団における規律や自主性、協力、責任などの態度を身に付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場に応じた活動の仕方を考えさせる。 ・上学年を中心に計画、実施、反省と取り組ませることにより、上学年の意識を高められるようにする。 ・交流する機会を増やすことにより、学年を超えて、互いの気持ちや生命を尊重する気持ちをもたせる。 |
| | 勤労③ | | |
| | たてわりランチ① （給食） ・学年にふさわしい自覚をもち、互いのことを思いやる。 | なかよし集会 児童会① ・たてわりで、互いを知り合う活動に取り組み、自他を大事に思う気持ちをもつ。 ・相手を大事に話をしたり、聞いたりする。 ・自分に対する周囲の願いや思いに気づく。 | |
| | たてわり遊び② | | |
| | 勤労④ | | |
| 3 学 期 | 勤労⑤ | 6年生を送る会・たてわり遊び 児童会② ・6年生への感謝の気持ちをたてわり班で表す。 ・5年生を中心にたてわり遊びを計画し、協力し合いながら遊ぶ。 ・学校の伝統を受け継いでいこうとする自覚をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人への感謝を中心に本学年のまとめをさせるとともに、次学年への意識が高められるようにしていく。 |
| | たてわりランチ② ・6年生への感謝の気持ちを表すとともに、次学年への自覚を高める。 | | |



異学年同士の「かかわり」を通して、自他のよさに気づき、学び合うとともに、自分の立場や役割を考え、協力し合って活動に取り組む。（「かかわりあう力」・「みつめる力」を身に付ける）

○地域との「かかわり」を中心とした全体構想(5年)資料⑤

| 月 | 関連教科 | 地域を中心とした「かかわり」 | 関連領域 | 評価 |
|----|--|--|--|---|
| 4 | | 国語「すいせんのスピーチをしよう」 ・自分の意見をわかりやすく表現する力をつける。 | | 国語 ・推薦するものの良さが伝わるように話したり、納得できるように留意して聞いたりしている。 →発言・メモ |
| 5 | | 総合「小長井のひと」(カキの養殖) ・小長井でカキの養殖が盛んなことを知る。 ・小長井漁協の方に漁協に対する思いを聞く。 ・カキの種付け体験をする。 | | 総合 ・めあてをもっと取り組み、観察やインタビューをして気がついたことを記録している。 →書き込み・記録 |
| 6 | 社会「食料生産を支える人々」 ・食料生産に従事している人々の工夫や努力について知る。 | | 学活「清掃ボランティアについて」 ・活動の意義を考え、目標をもつ。 | 社会 ・学習問題や予想、学習計画を立てて取り組み、国民生活を支えている農業の重要性について考え、適切に表現している。 →観察・記録 |
| 7 | | 児童会「清掃ボランティア」 縦割りで、地域の清掃に取り組む。 ・地域の役に立つことを考え、活動を計画する。 ・嫌なことでも、集団の一員として最後までやり遂げる。 ・異学年集団をリードし、協力して活動する。 | 道徳「心にかける屋根シート」 4-(4) 勤労・奉仕 ・勤労が自分のためだけでなく、社会生活を支えるものであることを理解し、働くことや仕事の喜びについて考える。 | 学活 ・活動の意義を理解し、意欲を示している。→発言・感想 清掃ボランティア ・自分の役割を考え、地域のために意欲的に活動している。 ・異学年集団をリードし、積極的に活動している。 →観察・ポートフォリオ |
| 9 | | | | 道徳 ・働くことの意義について理解している。 ・話し合いに積極的に参加している。 →発言・感想 |
| 10 | | 総合「小長井のひと」(赤米) ・赤米の稲刈り、おにぎり作りを通して、農家の人の苦労や収穫の喜びを知る。 | | 総合 ・積極的に稲刈りに参加し、農家の人の苦労や努力、喜びを感じようとしている。 →観察・作文・ポートフォリオ |
| | 社会「工業生産を支える人々」 ・工業生産に従事している人々の工夫や努力について知る。 ・いろいろな職業があり、国民生活を支える重要な役割を果たしていることに気づく。 | | | 社会 ・工業生産に従事している人々の生活や努力について理解している。 ・積極的に取材・記述・交流に取り組んでいる。 →観察・作文 |
| 11 | | 総合「小長井のひと」(福祉) ・体の不自由な人や高齢者のことを知る。 ・車椅子体験や高齢者疑似体験を行い、相手の立場に立って物事を考えようとする心や態度を身につける。 | | 総合 ・体の不自由な人やその人に寄り添う人について知ろうとしている。 →観察・ポートフォリオ |
| 12 | 国語「友達のかかわりを詩に書こう」 ・友達とかかわったことを題材にして表現を工夫しながら詩を書く。 ・できた詩を読み合い、感想を伝え合う。 | | 学級レクレーション「希望園訪問」 ・介護施設希望園で、高齢者の方と交流をしたり、働く人にインタビューを行ったりする。 | 国語 ・他者とかかわりを見つめ、自分の思いを表現しようとしている。 →観察・詩・発言 |
| 1 | | | 道徳「ボランティアクラブに入って」 ・人のために働く喜びについて考え、集団や社会に積極的に奉仕しようとする心や態度を育てる。 | 学級レクレーション ・学習したことをもとに、高齢者の方に喜んでもらえる活動を行おうとしている。 →観察・作文 道徳 ・筆者の生き方と自分の生活と |
| 2 | | 総合「小長井に住むわたし」 山崎病院での奉仕活動 ・今まで出会った人たちの仕事や地域への思いを考え、自分たちにできること、したいことを考え、活動する。 | | 道徳 ・自分たちのこれまでの活動を振り返るとともに、働くことの喜びや意義について理解することができている。 →発言・感想 |
| 3 | 国語「みずぶさぎの旅」 ・筆者の「金子みすゞ」の詩に対する思い、生き方を読み取り、自分の考えをもつ。 | | 児童会「6年生を送る会」 ・6年生に感謝するとともに、卒業生の思いにふれ、最高学年に進む決意をもつ。 | 総合 ・社会に実践的に関わることで、誰かの役に立つ喜びを味わい、勤労の意義を理解しているか。 →観察・作文 |
| | | | | 児童会 ・6年生に感謝の気持ちをもち、伝えようとしている。 ・最高学年になる心構えをもち、計画・行動することができている。 →発言・観察・作文 |

他の人との「かかわり」を通して、こうありたいと思う自分の願いや思いをもち、自分がよいと思うことに進んで取り組む。

4 研究のまとめ

研究仮説

全教育課程の中で、よりよい「かかわり」づくりを意識した指導や評価を、計画的、関連的に位置づけることにより、児童は、肯定感をもちながら自己を形成するとともに、他者との円滑な関係を築く能力を身につけるであろう。

上記の研究仮説をもとに、

- (1) よりよい「かかわり」づくりについて
 - (2) 事前事後を考えた一連の指導について
 - (3) 評価について
 - (4) その他の取組について
- の4点について、成果(○)と課題(●)をまとめたい。

(1) よりよい「かかわり」づくりについて

本年度は、「かかわり」を次の3つの形で考え、実践した。

- ① たてわり活動での「かかわり」
- ② 家庭や地域との「かかわり」
- ③ 授業の中でめざす「かかわり」

また、上記の「かかわり」が効果的であったかを、次の4点で評価した。

- ① 「基礎的・汎用的能力」についてのアンケート結果
 - ② 本校の児童に特に育てたい4点(周囲への感謝、協力、忍耐力、自己肯定感)についての自己評価
 - ③ 各活動や学習の中での作文などの定性的な評価及び相互評価
 - ④ 全教育課程を通じての観察(担任の観察及び他の職員の気づきを交流しながら)
- たてわり活動の中での2回の自己評価や「基礎的・汎用的能力」アンケートの5月と11月の比較において、「周囲の期待を感じる」「協力してやり遂げる」に成果が見られた。
 - 高学年では、進んで計画や準備を進めたり、次の目標を設定したりと高学年としてのあるべき姿に近づこうとする姿が見られるようになってきた。
 - 事後の作文等では、全学年を通じ、「〇年生になったら」「〇年生のように」「～の力が伸びてきた」など他学年のよさに学んだり、自分を肯定的にとらえる言葉が見られた。
 - 地域を学びの場にすることで、学校で学んだことや考えたことを家庭や地域の中で実践したり、そこから新たな課題に気がついたりすることができた。
 - 人を大事に思いながら話したり聞いたり、友達とともに課題を解決したりという意識は高まってきた。
 - たてわり活動、授業への取組とともに、全員が十分に達成できているとは言えない。相互評価、学級づくり、一人一人の「聞く」「話す」能力を高める工夫などがまだ必要である。
 - 教科や領域等との関連を考えた地域教材や人材の開発、指導内容の整理をし、「かかわり」をよりよいものにしていくことが大切だと考える。また、地域の個人、団体など学校に協力してくださる方との体制づくりも進めたい。

(2) 事前事後を考えた一連の指導について

- 体験を中心にした事前事後の流れを考えることで、教科や領域等での学びに具体的な対象ができ、目的意識をもって取り組むことができた。また、教科や領域、体験を関連させることで、一度の学習では気づけなかったことに気づいたり、考えを深めたりすることもできた。
- 家庭や地域との「かかわり」の見直しとともに、より効果的な学習の流れを考えていきたい。その際、体験ありきではなく、体験をすることの必然性を感じさせるようにしていきたい。

(3) 評価について

- たてわり活動の評価については、項目を絞ったことで、変容を見とることができた。
- 活動後に作文、感想、手紙などの記録を残すことで、指導の見直しとともに、学んだことをはっきりさせたり、自分のことをしっかり考えたりするようになってきた。
- よさを相互評価させることで、自信を深めたり、活動に意義を感じたりする子どもが多かった。
- 生活の様々な場面で、子ども達に対する職員からの声かけが多くなった。また、職員間でも、子どもの様々なよさが話題になることが増え、子どもを多方面から肯定的に評価できるようになった。
- 記録に残す評価は回数をしばったが、それでも、一つ一つに時間がかかった。書く力を伸ばして短時間で書けるようにすること、書かせる内容を工夫することの両面で改善をはかりたい。

(4) その他の取組について

- 朝の時間の活用で、少しずつ積み重ねができた。他学年との「聞く・話す」活動は、上学年、下学年ともに自分たちを見つめ直したり、よさを学んだりすることができた。
- 時間の遵守、集会時の態度など、全校で重点的な指導をしたことで、変容が見られた。また、行事や集会時に感想や意見を言う時間を設けたことで、他学年の態度に学び合えるようになってきた。
- 「基礎的・基本的知識・技能」「論理的思考力・想像力」については、継続的に変容を確認していきたい。